

⑯日本国特許庁 (JP)

⑮特許出願公開

⑯公開特許公報 (A)

昭59-54809

⑯Int. Cl.⁵ 識別記号 行内整理番号
F 16 B 39/286 7526-3丁目37番12号

⑯公開 昭和59年(1984)3月29日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯緩み止めナット

⑯特 願 昭57-163223

⑯出 願 昭57(1982)9月21日

⑯発 明 者 満尾浩治

東京都杉並区永福3丁目37番12号

⑯発 明 者 大坪則雄

八王子市市場之内1715-43南陽台
54-4

⑯出 願 人 株式会社満尾総合研究所

東京都杉並区永福3丁目37番12号

明細書

1.発明の名称

緩み止めナット

2.特許請求の範囲

底面近くに螺孔と交叉する切込溝が設けられており、該切込溝によつて上部本体部とこれより小かい下部変形可能部が構成されたナットであつて、その底面に勾配が設けられてゐるが、底面に凸部が設けられてゐるが、又は底面に勾配が設けられてゐるが凸部が設けられていて、上記ナットをボルトに螺栓して締めつけると、上記下部変形部が変形して、上記切込溝の巾が狭くなるように構成されてゐることを特徴とする、緩み止めナットに関する。

3.発明の詳細な説明

この発明は、底面近くに螺孔と交叉する切込溝が設けられており、該切込溝によつて上部本体部とこれより小かい下部変形可能部が構成されたナットであつて、その底面に勾配が設けられてゐるが、底面に凸部が設けられてゐるが、

又は底面に勾配が設けられていて、上記ナットをボルトに螺栓して締めつけると、上記下部変形部が変形して、上記切込溝の巾が狭くなるように構成されてゐることを特徴とする、緩み止めナットに関する。

本件図面第1回は、底面1'近くに螺孔2'を交叉する切込溝3'が設けられており、該切込溝3'によつて上部本体部4'とこれより小かい下部変形可能部5'が構成され、かつ底面1'に勾配が設けられた緩み止めナット1例を示す。第2回は、底面1'近くに螺孔2'と交叉する切込溝3'が設けられており、該切込溝3'によつて上部本体部4'とこれより小かい下部変形可能部5'が構成されたナットと、勾配が設けられた底面6'とを組み合わせた緩み止めナット1例を示す。また第3回は、底面1'近くに螺孔2'と交叉する切込溝3'が設けられており、該切込溝3'によつて上部本体部4'とこれより小かい下部変形可能部5'が構成されたナットと、勾配が設けられた底面6'とを組み合わせた緩み止めナット1例を示す。尚上記実施例にありて第2

側面の締め止めナットに設けた凸部を備え、複数の側面に締め止めナットが締み難く、堅縛作業も簡易である時ナットと一緒に取付してもよく、回すのよろばぬ面に孔を貫通凸部を接着して、また第3側面の側面の締め止めナットを複数の側面に設けてもよく底面に

または底面に凸部を設けてもよい。

第4側はボルトAに從事のナットBを螺栓し、更にこの発明の締め止めナットCを螺栓して二重ナットを構成する所を示す。第5側はボルトAに締め止めナットCのみを螺栓した所を示す。実験で示すように2枚の板材D Eを介在させ、締め止めナットCを締めつけた所X、下部裏打ち可能部が変形し、切込溝はその外側の方から破くなり、2枚の板材D Eは強固に結合される。尚第4側及び第5側の締め止めナットCには、第1側の締め止めナットを回すした。またより早くはボルト子してある。

この発明は詳記のように精肉士机、締め止めナットを堅縛した後は推動を衝撃等により締み

等の効率を有し、極めて実益的である。尚凹面に孔を貫通凸部を接着して、複数の側面に締め止めナットを複数の側面に設けてもよく底面に理屈的に締め止めナットを堅縛した時その底面が板材や底金等に密着する範囲内の勾配が望ましい。

4. 側面の簡単な説明

本件側面はこの発明の実施例を示すものであつて、第1側～第3側は締め止めナットD 3例の縦断面図、第4側及び第5側は締め止めナットをボルトに螺栓した所2例を示す側面図である。

1. 1'、1''--- 底面
2. 2'、2''--- 螺孔
3. 3'、3''--- 切込溝
4. 4'、4''--- 上部本体部
5. 5'、5''--- 下部裏打ち可能部
- 6--- 凸部
- A--- ボルト
- B--- ナット
- C--- 締め止めナット

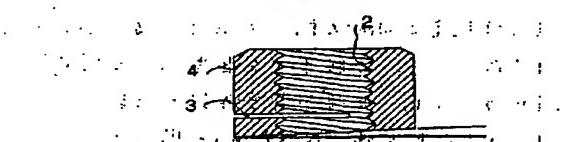
特許出願人

株式会社 满尾総合研究所

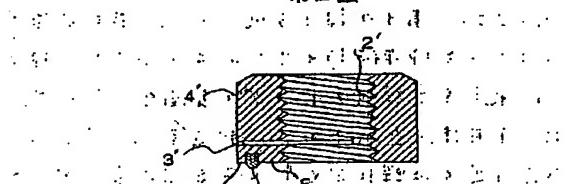
代表取締役 满尾三吉



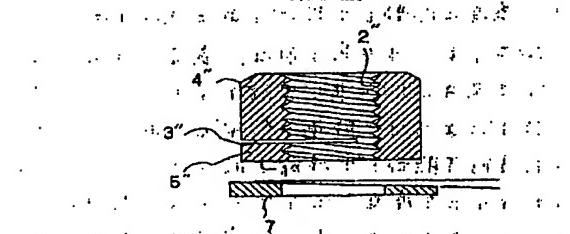
第1図



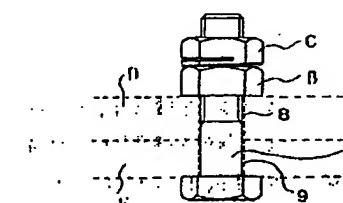
第2図



第3図



第4図



第5図

